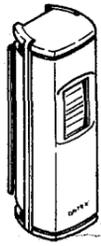


ワイヤレスセキュリティ 《送信器》

取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。

(取り付け方法、各スイッチの設定については裏面の
施工説明書をお読み下さい)



屋内・屋外センサ

S-TD5

屋内・屋外センサ、S-TD5は従来のワイヤレスセンサシステムOO-1FJ・OO-2とは互換性はありません。

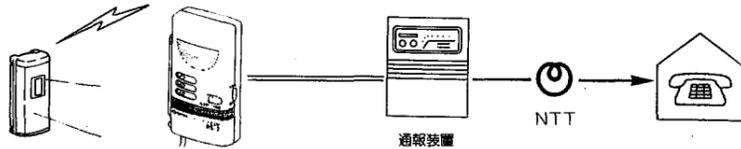
技術的条件適合認定品

はじめに

S-TD5 (送信器) はワイヤレスセキュリティRS5シリーズ
受信器: S-RS5、又はRC5シリーズ受信器: S-RC5と組み合わせて使用し、センサ検知時に、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動通報装置等を介して、緊急通報を行うための装置です。

この無線装置は、配線をなくして電波で連絡しているため、システムの設置・増設・移設が容易であり、かつ、お部屋の美観を損なわないという特長を有しております。

電気通信回線設備への接続



この無線装置は、電気通信回線設備に接続して使用するものです。ただし、S-RS5 (受信器: 別売)・S-RC5 (受信器: 別売) は自動通報装置等 (技術基準等適合認定品に限り) を介して電気通信回線設備に接続して使用するため、利用する回線の種類は特定していません。S-RS5・S-RC5の自動通報装置等 (認定品) への接続は、S-RS5・S-RC5の無電圧接点出力端子 (各受信器の取扱説明書をご覧ください) を自動通報装置等 (認定品) のセンサ入力端子へ接続してご使用ください。

1. 安全にご使用いただくために

絵表示について この説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容を表示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⊘記号は禁止を表します。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左の図は分解禁止) が描かれています。

⚠記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

警告		注意	
異常なときは電池を取り出す	万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに乾電池を取り出して異常状態がおさまった事を確認してから販売店、工事店にご連絡下さい。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。	消耗した乾電池は取り出す	長期間乾電池をいれたままにしておくと、液もれが起こり、故障につながるだけでなく液に触れるとやけどの原因となります。
分解・改造しない	分解・改造は法律で禁じられています。また、火災、感電の原因となります。絶対におやめください。	乾電池は指定以外のものを使わない	充電式 (Ni-Cd) 電池等は使用しないでください。破裂、液もれなどを起こし、やけどの原因となります。
乾電池を分解・加熱、火の中に投入しないで下さい	乾電池を分解・加熱、火の中に投入しないでください。ショートや破裂、液もれなどを起こし、けがの原因となります。	種類の違う乾電池を混ぜて使用しない	種類の違う乾電池や新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。液もれを起こし、やけどの原因となります。
		お断り	ワイヤレスセキュリティRS5・RC5シリーズは盗難、事故などの防止器ではありません。万一発生した盗難、事故などによる損害については責任を負いかねます。

2. 各部の名称と働き

②動作表示灯

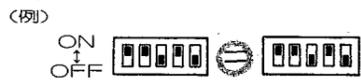
動作表示灯ON/OFFスイッチをONにしますと検知時点灯します。なお電池が残り少なくなると点灯が点滅に変わります。

③動作表示灯ON/OFFスイッチ

電池寿命を延ばす為、取付が完了したら、OFFにしてください。

④セレクトスイッチ

ご近所で本商品をつかわれている場合の混信を防ぐ為のスイッチです。同一システム内のセレクトスイッチは送信器・受信器共同設定にしてください。



万一混信する場合はセレクトスイッチの設定を変更してください。

⑥取付プレート

⑦角度固定ネジ

①センサ

直接手で触れないでください。

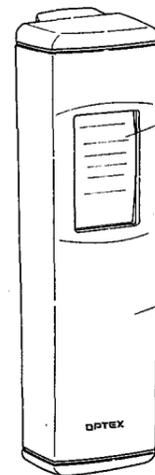
⑤モード設定スイッチ

受信器 (S-RS5 使用の場合) で設定したモードと同じ設定のセンサが検知したときのみ受信器が動作します。S-RC5 使用の場合は真中の位置でご使用ください。送信器・受信器の設定の組合せが下表の○印のときのみ動作します。

送信器	受信器		
	S-RC5	S-RS5	
S-TD5	警戒	警戒	報知
	両方 (真中の位置)	○	○
	報知	○	○

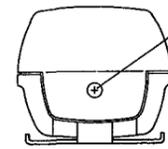
⑧チャンネル設定スイッチ

複数のセンサを使用した場合どのセンサが発報したかを受信器の側で知る機能です。S-RC5 を使用した場合は音色で、S-RS5 を使用した場合は音色と表示灯で知ることが出来ます。



⑨レンズ
7. エリアの確認参照

⑩カバー



⑪カバー固定ネジ

3. 異常時の点検について

まったく動作しない。

- 電池の向きは正しいですか。 → 電池を正しく入れ直してください。
- 電池が消耗していませんか (動作表示灯が点灯ではなく点滅していませんか) → 電池を交換してください。(単3形: LR6×3本)
- 電池を入れてから約1分たちましたか。 → 約1分間お待ちください。
- 検知エリアを遮る物がありますか。 → 遮る物を取り除くか、遮られない所に取り付けるようにしてください。
- 表示灯ON/OFFスイッチがOFFになっていませんか。 → OFFになっていた場合、動作はしていてもS-TD5のみでは動作の確認はできません。
- セレクトスイッチは送信器・受信器で同じ設定になっていますか。 → 「2. 各部の名称と働き」の④セレクトスイッチを参照してください。
- モードスイッチの設定は適切ですか。 → 「2. 各部の名称と働き」の⑤モード設定スイッチを参照してください。
- 検知エリアの向き、設定距離は適切ですか。 → エリア図をご確認の上、再調整してください。
- 検知エリアの向き、設定距離は適切ですか。 → エリア図をご確認の上、再調整してください。
- レンズ表面に汚れ等ありませんか。 → 柔らかい布でふき取ってください。

ときどき動作しない。

- 検知エリアの向き、設定距離は適切ですか。 → エリア図をご確認の上、再調整してください。
- レンズ表面に汚れ等ありませんか。 → 柔らかい布でふき取ってください。

誤動作する。

- 検知エリア内に犬や猫等の小動物が出入りしていませんか。 → 壁取付にする等小動物を検知することのないようにしてください。
- 検知エリア内に洗濯物、樹木の枝、カーテン等動く物はありませんか。 → 検知エリア内から動く物を移動させるか、検知エリアの調整を行ってください。
- 検知エリア正面から太陽光、車のヘッドライト等の照射はありませんか。 → 検知エリア正面から、照射しないように取り付けなおしてください。
- 取り付け場所が急激な温度変化を起こしていませんか。(例えばエアコンの吹き出し口の近く) → 急激な温度変化の起こらない場所に取り付け直してください。
- 取り付け部が動いていませんか。 → しっかりと固定できる場所に取り付け直してください。
- 検知エリア内に急激な温度変化を起こす物 (ストーブ・ファックス等) はありませんか。 → 検知エリアからはずれるように温度変化を起こす物を移動するか、検知エリアの調整を行ってください。
- 電池が消耗していませんか。 → 電池を交換してください。(単3形: LR6×3本)
- ご近所でワイヤレスセキュリティを使われていませんか。(その信号を受信器が受けている可能性があります) → セレクトスイッチの設定を変更してください。「2. 各部の名称と働き」の④セレクトスイッチを参照してください。
- 自動通報装置は動作していますが、外部への連絡が行わない。 → 受信器と自動通報装置の接続が正しく行っているか確認してください。

以上の点検を行っても原因のわからないときには、お買あげ店もしくは弊社へご相談ください。

4. ご注意ください

ワイヤレスセキュリティをご使用の際には、下記の項目にご注意ください。

<p>1. 遮光物体</p> <p>検知エリアが遮られるような場所には取り付けないでください。(透明ガラス等も遮光物体となります。)</p>	<p>2. 温度変化・汚れ</p> <p>蒸気、油煙、エアコンからの温・冷風の直接あたる場所へは送信機を取り付けしないでください。(急激な温度変化は誤動作の原因に、汚れは検知しにくくなります。)</p>	<p>3. 光</p> <p>送信機の検知エリア正面からの太陽光、車のヘッドライトの直射は避けてください。(誤動作の原因になります。)</p>	<p>4. 通過方向</p> <p>必ず絵の様に、検知エリアを横切る(くぐる)様に送信機を取り付けてください。</p>
<p>5. 他の電気製品</p> <p>次のような機器からの影響で受信しにくくなる可能性があります。パソコン・電子レンジ・冷蔵庫・モーターを使用した機器。(送信機の誤動作、受信機の動作不良の原因になります。)</p>	<p>6. 障害物</p> <p>検知エリア内に洗濯物、樹木の枝、カーテンなど(風などで)動く物が無いこと。(動く物は誤動作の原因になります。又、物のガラスも含む)でかくされた後は検知しません。</p>	<p>7. 壁取付と天井取付</p> <p>壁取付は、床から約0.8m、無目・天井取付時は床から5m以内に取り付けてください。 壁取付時はカバー固定ネジが下になるように取り付けてください。 無目取付時はカバー固定ネジが右側になるように取り付けてください。 取付プレートに書かれた印が上を向くように取り付けてください。</p>	<p>8. ペット・小動物</p> <p>送信機の人体検知センサは、犬・猫・ねずみ・小鳥等も検知する場合があります。ペットのいる場所では壁取付をおすすめします。(床から80cm、棚から20cm以上に取付け。)</p>

- 夏場など体温と周囲環境との温度差が少ない場合検知しにくくなったり、検知距離が短くなる場合があります。
- センサに向かって歩くように設置した場合検知しにくくなったり、検知距離が短くなる場合があります。
- 次のような条件で使用しますと、電波到達距離が、10.0mより短くなる場合があります。
 - 送信機もしくは受信機の取付面が金属製の場合。(取付面の裏に金属性の物、フィルム等がある場合)
 - 放送局などの強い電波を出している所の近く。
 - 高圧線などの電氣的ノイズを多く出している所の近く。
 - 受信機のロッドアンテナがほぼまで伸びていない場合。
- 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 機器本体が汚れた場合は中性洗剤を含んだ柔らかい布でふいてください。(シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を汚めることがあります。)
- 送信機の電池交換は1年を目安に早目に行ってください(使用状況に応じて電池の交換時期が変わることがあります。)

5. お取り付けの方法

<p>①カバー固定ネジをゆるめず。ネジはカバーから抜いてしまわないでください。</p>	<p>②カバーをはずします。</p>	<p>③検知エリアの設定、及びスイッチ類の設定を行なってください。(2章及び6章参照)</p>	<p>④角度固定ネジをゆるめず。(両端とも)</p> <p>取付プレートを引き出します。</p>
<p>⑤取付プレートを付属のビスで固定してください。</p> <p>7章の下にある取付型紙をご使用ください。</p>	<p>⑥電池を入れてください。</p> <p>電池の方向をまちがわないよう本体に表示された方向に入れてください。</p>	<p>⑦検知エリアの調整を行い、角度固定ネジで固定してください。</p> <p>ネジは本体を押しこんだ位置で止めてください。</p>	<p>⑧カバーをしめてカバー固定ネジで固定してください。</p>

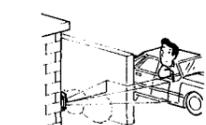
6. エリアの確認

本機種は、スポットタイプ・ナロータイプ共用であり、レンズをはめ換えることにより、おのおのの検知エリアの切り換えが行なえます。

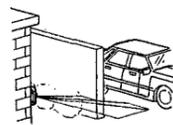
① 壁に取り付けナロータイプでご利用の場合は「N」と書いてある方の穴へ④レンズ固定リブを通してください。検知エリアを水平にしたい場合は、「0」の穴へ、下へ向きたい場合は「4」「8」の穴へ通してください。

② 天井・無目に取り付けスポットタイプとしてご利用の場合は「S」と書いてある方の穴へ④レンズ固定リブを通して固定してください。

③ レンズ固定爪にパチンとはめて固定してください。



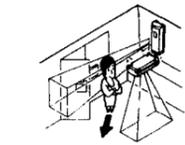
検知エリアの先は必ず壁、ブロッカーなどで遮るようにしてください。検知エリアがもれていると思われぬ遠くのものでも検知する恐れがあります。



どうしても検知エリアが外へもれる場合、レンズの取付位置を「4」又は「8」とし、検知エリアを下へ向けてください。

ご注意

この製品は、検知エリア内に人が入ったときの温度変化を検知する方式です。周囲の温度によって検知距離が短くなったり長くなったりすることがあります。温度の変化を検知しているため、静止している人などは検知しません。又、方向性があるためセンサに近づいてくると、「4」にご注意ください(4.通過方向)に示す以外の方向に動く人などは検知しにくくなります。



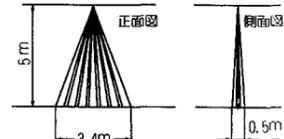
検知エリアは出入口の近くになるようにしてください。検知エリアが出入口からはなれると、人が検知エリアと出入口の間を通り抜けて検知しないことがあります。

天井取付



床面近くで水平にゆっくり手を動かしてください。動作表示灯が点灯する所に検知エリアがあります。

スポットタイプエリア図

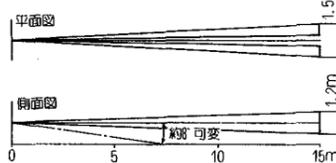


壁取付



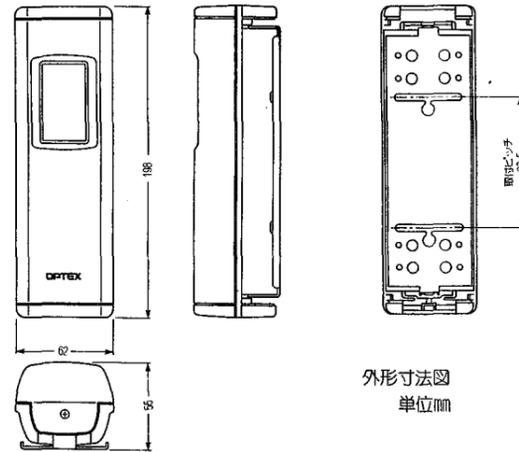
ゆっくり歩いて、どの位置で動作するか確認してください。動作表示灯が点灯する所に検知エリアがあります。

ナロータイプエリア図



8. 仕様

小電力セキュリティシステムの無線設備 S-TD5	
検知方式	パッシブインフラレッド方式
最大検知距離	5m(スポット)・15m(ナロー)
動作表示灯	検知時点灯(スイッチにより消灯可能)
送信出力	10mW±20%
使用周波数	42.6MHz
電波型式	F2D
標準電波到達距離	10.0m (但し周囲の状況により距離が短くなる場合があります。)
送信禁止時間	約3秒
ゾーン設定数	3ゾーン
モード設定	防犯報知・防犯警戒・両方
IC外スイッチ切替(監視防止)	32通り
電源	DC4.5V(単3形×3本)
電池寿命	約1年(18500回送信:アルカリ電池使用)
使用温度範囲	-10~50℃
設置場所	屋内・屋外
重量	330g
付属品	取付ネジ4×2.0 2本



*仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
【お断り】この商品は盗難防止ではありません。万一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

7. システムの設置例

- ①事業用電気通信回線設備への接続
【自動通報装置等(認定品)】+【S-RS5又はS-RC5】(1台)
+【S-TD5】(3台まで)
- ②事業用電気通信回線設備への接続と外部機器への接続
【外部機器】(ブザー等1台)
+【自動通報装置等(認定品)】+【S-RS5】(1台)
+【S-TD5】(3台まで)

オプテックス株式会社

セキュリティ事業部 TEL(077)524-6946 FAX(077)524-3201
本社 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜4-7-5 TEL(077)524-6990
東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 TEL(03)3344-5775
新宿グリーンタワービル18F